

環境工学研究会（大阪）
「建築環境における潜熱技術の活用」

2020年までに、条件付きでCO₂を1990年比で25%削減が表明され、さまざまな取り組みが始まっており、建築設備分野にもさらなる省エネルギー化が求められている。このような状況のなかで、熱エネルギー利用の高度化を図ることにより大きなCO₂削減、省エネルギーが期待できる。そこで今回は、未利用エネルギーの活用と顕熱・潜熱分離システムである「収着型調湿システム」の開発と実践について、中・高温域の熱需要に対する蓄熱技術の高度化の事例として「パラフィン系潜熱蓄熱材」の開発とその応用について具体的な取り組みを紹介する。

主催：（社）空気調和・衛生工学会近畿支部

協賛：（社）建築設備技術者協会近畿支部

日時：平成22年7月23日（金） 15時～17時

会場：キャンパスポート大阪 ルームD+E

大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階 TEL：06-6344-9560

題目・報告者と内容

1. 収着型調湿システムの開発と実践

報告者 稲葉 英男（津山工業高等専門学校）

戸谷 三郎（㈱アット東京）

内 容 従来のデシカント空調ユニットで使用されるロータ型デシカントモジュールを高分子収着剤を用いたコンパクトなブロック型とし、ヒートポンプ廃熱を利用した収着剤の再生乾燥および収着剤による顕熱・潜熱分離空調システムについて紹介する。

2. パラフィン系潜熱蓄熱材の開発と応用

報告者 松岡 秀男（㈱J X日鉱日石エネルギー）

内 容 蓄熱技術の中・高温域の熱需要に対する高度化の事例として、パラフィン系潜熱蓄熱材「エコジュール」の特長と効果および幅広い熱利用・応用の実施例について紹介する。

参加費 環境工学研究会会員 無料

非会員2000円（資料代を含む）

申込方法 ご希望の方は、平成22年7月9日（金）までに、ホームページ上の申込フォームから申し込み下さい。<http://kinki-shasej.org/>

（社）空気調和・衛生工学会近畿支部

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10ATC/ITM棟11F

電話（06-6612-8857） FAX（06-6613-7890）

E-mail:office@kinki-shasej.org